第２号様式

平成２４年１１月２２日

登録団体概要書

１　団体名・活動分野・自己ＰＲ（※各項目の記載枠サイズは、適宜加工してください。）

(1)団体名	まちなか防犯協議会
(2)種類	□ 特定非営利活動法人　■ 任意団体　□ その他（　　）
(3)主な活動分野	□ 福祉　□ 環境　□ 文化　□ スポーツ　□ 子どもの健全育成 ■ その他の社会貢献に係る分野（中心市街地における防犯活動）
(4)自己ＰＲ・アピールポイント	安全・安心なまちづくりを目指し、地元自治会・商店界を中心に、毎週金・土の夜、まちなか防犯センターでの見守り活動を行っている。 全国的にも珍しい取り組みである。最近ではボランティアも参加するようになった。防犯センターの設置により、安心して街を歩くことができるようになったなどの声が寄せられている。

２　活動について

(1) これまでの主な活動実績	平成２３年６月２４日から、毎週金・土曜日の夜に、防犯センターでの見守り活動を実施し、来訪者同士のトラブル発生による１１０番・１１９番通報、来訪者の道案内などを行った。
(2)団体の目的（定款等に記載された目的）	安全で安心な中心市街地を目指し、有楽街等の中心市街地における防犯活動等を行い、もって中心市街地の発展に寄与することを目的とする。
(3) 団体の活動・業務（事業活動の概要）	毎週金・土曜日午後８時から翌午前１時までの、防犯センターでの見守り活動。 来訪者同士のトラブル発生による１１０番・１１９番通報、来訪者の道案内など。
(4) 現在特に力を入れている事業	防犯センターでの見守り活動
(5) 4 の事業に関する地域の課題・目的（必要性）	（地域の課題） 有楽街に飲食店が増えたことで、夜間に酔っ払い同士の喧嘩などが増加し、体感治安が悪化した。 （目的・必要性） 来訪者の安全を確保し、安心して過ごすことができる街を実現し、中心市街地の発展につなげるため。
(6) 4 の事業の目標と成果の確認方法	（目標） 中心市街地での犯罪抑制、来訪者の安全確保 （成果の確認方法）

	センターへの駆け込み人数、犯罪認知件数
(7) 4 の事業に関する今後の方向性・ビジョン	防犯センターでの活動人数が増加した場合には、見守り活動だけでなくパトロールも行いたい。 また、深夜の時間帯は危険度が高まるため、警備会社に委託し、地元と警備会社との協働で活動していきたい。

3　他の組織等からの支援の実績と内容

(1)助成金・物品等、他の組織から受けた支援の実績	※直近２か年度分の実績を記載。 浜松市より、防犯グッズ等の消耗品の支援。
(2) 他の NPO・市民活動団体との協働の実績	※協働した団体名と実施内容を簡潔に記載。 なし
(3)企業等との協働の実績	※協働した団体名と実施内容を簡潔に記載。 なし
(4)行政との協働の実績	※協働した団体名と実施内容を簡潔に記載。 浜松市役所より防犯センター設置工事費、維持管理費（センター賃借料、電気料、水道料)、年末年始警備補助金（１／２補助） 浜松中央警察署（新川交番・駅前交番）の特別警戒パトロールや普段のパトロールの際に、防犯センターへ立寄り。

4　情報公開について

(1)活動内容の報告方法	□ 団体のホームページを利用　□ ブログを利用 □ ツイッター・フェイスブックを利用　□ 活動報告会を実施 □ 現場見学会を実施　■ その他（会報を作成し、防犯センターへ配架、地元への回覧。）
(2)寄附を受けた場合、寄附者への活動報告方法	□ 実施活動の報告書を送付　■ 会報等を送付 □ メールマガジンを送付　□ 活動報告会へ招待 □ 活動現場の見学会へ招待 □ その他（　　）